

薩摩川内市議会だより

発行 薩摩川内市議会
編集 議会だより編集委員会

〒895-8650 鹿児島県薩摩川内市神田町3番22号
TEL 0996-23-5111(代表) FAX 0996-23-5015
ホームページ <http://www.city.satsumasendai.lg.jp>



市議会議員研修会

1月15日(金)に鹿児島県市議会議員研修会が開催され、本市議会議員が参加しました。



原子力防災訓練

1月19日(火)に鹿児島県原子力防災訓練が行われ、本市議会議員が視察しました。

平成21年第5回定例会 (11月30日～12月25日)

主な議案等について	P 2～P 3
総括質疑並びに一般質問15名登壇	P 4～P 9
各常任委員会報告	P 9～P 11
各特別委員会報告	P 11～P 16
常任委員会行政視察の報告	P 16～P 18
平成21年第5回定例会議決結果	P 19～P 21
請願・陳情の処理状況・議会の動き等	P 22

◎平成21年度第5回補正予算（専決処分）を承認しました。

《今回補正額》

(単位：千円)

区 分	補正前予算額	補正額	補正後予算額
一 般 会 計	50,175,235	158,620	50,333,855

《補正の内容》

- 新型インフルエンザワクチン接種対策事業 158,620千円

◎平成21年度第6回補正予算を可決しました。

《今回補正額》

(単位：千円)

区 分	補正前予算額	補正額	補正後予算額	
一 般 会 計	50,333,855	△155,868	50,177,987	
特 別 会 計	簡易水道事業	880,894	△1,209	879,685
	温泉給湯事業	37,722	△138	37,584
	公共下水道事業	1,072,130	△133	1,071,997
	漁業集落排水事業	532,036	△189	531,847
	天辰第一地区土地区画整理事業	1,071,128	△770	1,070,358
	川内駅周辺地区土地区画整理事業	354,724	△488	354,236
	入来温泉場地区土地区画整理事業	675,284	△684	674,600
	国民健康保険直営診療施設勘定	1,001,314	△5,950	995,364
	介護保険事業	9,107,948	△1,283	9,106,665

《補正の内容》

- 国家公務員の人事院勧告に伴い、これに準じ職員の給与改定経費等減額するもの。

◎平成21年度第7回補正予算を可決しました。

《今回補正額》

(単位：千円)

区 分	補正前予算額	補正額	補正後予算額	
一 般 会 計	50,177,987	131,482	50,309,469	
特 別 会 計	簡易水道事業	879,685	△4,491	875,194
	温泉給湯事業	37,584	116	37,700
	公共下水道事業	1,071,997	△693	1,071,304
	農業集落排水事業	238,965	△3,344	235,621
	漁業集落排水事業	531,847	105	531,952
	浄化槽事業	27,106	2,598	29,704
	天辰第一地区土地区画整理事業	1,070,358	△30,721	1,039,637
	川内駅周辺地区土地区画整理事業	354,236	6,127	360,363
	入来温泉場地区土地区画整理事業	674,600	140,405	815,005
	国民健康保険事業	10,877,803	445,916	11,323,719
	国民健康保険直営診療施設勘定	995,364	△40,371	954,993
	老人保健医療事業	139,901	△10,233	129,668
	介護保険事業	9,106,665	216,128	9,322,793

《一般会計補正の主な内容》

1. 全国瞬時警報システム整備事業
2. 乳幼児医療費助成費対象年齢拡大事業
3. フェリーニューこしき代船事業
4. 薩摩川内市観光案内業務委託事業
5. 道路維持修繕事業
6. 常備消防車両整備事業
7. 小学校太陽光発電設備設置事業

◎議案第160号「薩摩川内市祁答院グラウンドの指定管理者の指定について」

無記名投票の結果、賛成13、反対18で否決しました。

◎議案第166号「薩摩川内市乳幼児医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について」

これまで、乳幼児に限定していた医療費助成を、子育て支援施策の充実を図るため、助成対象を15歳まで拡充するもので、全会一致で可決しました。本年4月診療分から対象となります。

《薩摩川内市総合計画基本構想審査特別委員会の設置》

議案第194号（第1次薩摩川内市総合計画基本構想を一部変更するについて）を審査するため、12人の委員で構成する薩摩川内市総合計画基本構想審査特別委員会を設置しました。

委員長	山之内 勝	副委員長	東 完 治
委員	古 里 貞 義	委員	中 島 由美子
	永 山 伸 一		徳 永 武 次
	川 添 公 貴		持 原 秀 行
	福 元 光 一		谷 津 由 尚
	江 畑 芳 幸		小田原 勇次郎

インターネットで本会議の録画映像を御覧いただけるようになりました。

平成21年12月定例会分から、本会議の録画映像が御覧いただけます。また、3月定例会からは、本会議終了後3日程度で、録画映像が御覧いただけるようになります。

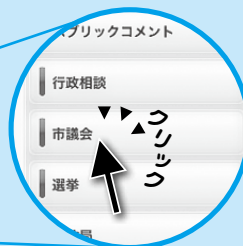


薩摩川内市のホームページの「市議会」から御覧いただけます。

① まずは薩摩川内市役所ホームページへ



② 【市議会】をクリック！



③ 本会議の録画映像をご覧になれます。



アクセスはこちら→<http://www.city.satsumasendai.lg.jp>

総括質疑並びに一般質問

① 新原 春二 議員 (薩摩川内会)

- 1 「総合計画」上期基本計画の総括と下期基本計画について
- 2 小中学校における英語力向上について
- 3 有機農業による農業振興について

② 大田黒 博 議員 (新生会)

- 1 蘭牟田池の渇水対策とマラソン公認コース活用策について
- 2 交通安全対策の推進について
- 3 県・国の補助制度に関する情報の積極的提供について

③ 永山 伸一 議員

- 1 国政における政権交代による本市への影響とその対応策について
- 2 平成20年度決算に対する評価と課題について

④ 谷津 由尚 議員 (むつみ会)

- 1 シティセールス推進の具体策は
- 2 観光構想の在り方について

⑤ 佃 昌樹 議員 (市民連合)

- 1 平成22年度薩摩川内市財政計画について
- 2 産廃処分場における耐震問題について
- 3 市政の見直し、改善について
- 4 複合拠点施設(仮称)の建設について

⑥ 江畑 芳幸 議員 (市民連合)

- 1 林業振興における地域産材の活用について
- 2 ワンストップ・サービスに対する研究成果と今後について

⑦ 山之内 勝 議員

- 1 地域経済雇用対策について
- 2 指定管理者制度について

⑧ 持原 秀行 議員 (市民連合)

- 1 シティセールスにおける意識の在り方
- 2 文化財構想の在り方
- 3 天辰第一地区土地区画整理事業について

⑨ 中島 由美子 議員 (公明党)

- 1 甌島観光の今後の展望について
- 2 次世代育成について

⑩ 川添 公貴 議員 (薩摩川内会)

- 1 生涯現役推進を積極的に進めるまちづくりについて
- 2 防犯灯の整備について

⑪ 瀬尾 和敬 議員 (薩摩川内会)

- 1 シティセールスの推進について
- 2 「新聞」を生かした教育推進について

⑫ 江口 是彦 議員 (薩摩川内会)

- 1 薩摩川内市中心市街地の現状と活性化について
- 2 「宝の島」甌島への観光情報発信のよりどころとしての「島の駅」設置等について
- 3 「介護予防ボランティア制度」について

⑬ 大坪 幹也 議員 (薩摩川内会)

- 1 薩摩川内政経クラブ50周年記念事業について
- 2 川内地区振興計画について
- 3 JAさつま川内の合併について

⑭ 井上 勝博 議員

- 1 医療制度について
- 2 原発と地域経済について

⑮ 森永 靖子 議員 (薩摩川内会)

- 1 交通安全対策について
- 2 食育の推進について

⑯ 杉蘭 道朗 議員 (公明党)

- 1 国際交流センター、産業振興センターの展示室について
- 2 サンアリーナせんだいのロビーの活用について
- 3 地上デジタル放送受信機器の助成について

◎ なお、議員名の次の()は所属会派の名称です。

◎ 次項以降に主な質問の内容を紹介しますが、紙面の都合上、質問項目のうち議員が希望した1項目を掲載してあります。

有機農業による農業振興について



新原 春二

質問 国は平成十八年に「有機農業推進に関する法律」を制定した。それを受けて県は昨年「有機農業推進計画」を策定したが、県の取組と薩摩川内市の取組の具体策を示されたい。また、現在取り組んでいる団体との連携、協力等支援策を伺う。そして、有機農業に対する市民への広報について聞きたい。

答弁 市農業振興基本計画に基づき、安心・安全な農産物を生産している。また、栽培技術の情報提供、普及を実施している。国・県及び民間団体で平成二十五年度を目標に、有機農業技術の開発・普及について研究している段階である。現在、有機農業を実施する農業者は少ないが、有機農業を目指す農業生産法人から、耕作放棄地を利用した有機農業に取り組みたいとの話が農業公社にあることが、市としても農地の仲介等を協力したい。有機農業の広報については、農業者を対象に、県が作成した有

有機農業推進の啓発チラシを配布して、広報・宣伝を行っている。
蘭牟田池の漏水対策について



大田黒 博

質問 蘭牟田池が、下流の三十町歩の水田の大事な用水源の役割を果たしていることから、何らかの対策を具体的に講ずるべきではないか。地域住民、市民そして県民が大きな関心をもって期待しているベッコウトンボの生息地確保について県等の協力を得て更なる対策を講ずる考えはないか。



蘭牟田池

答弁 ハード面の対策としては、用水路と井堰の整備を考えている。また、漏水箇所が多々あるので、補修を実施しなければならぬ。また、中山間地域等直接支払制度等の活用も含めて、水利組合、受益者と話をしていきたい。

ベッコウトンボの生息地確保については、蘭牟田池の近くに、ピオトープとして、蘭牟田池と同じ条件の池を作り、漏水したときに、ベッコウトンボがそこで生息できないか、国・県の意見も聴きながら検討している。用地買収を含めて、早速来年度予算で検討できないか研究したい。

国政における政権交代による本市への影響とその対応策について



永山 伸一

質問 さきの国政選挙において政権が交代し、新政権は税制をはじめ社会保障制度や農業及び公共事業など地方に与える影響が大きい分野の政策を大胆に転換するとしており、市民や企業など政策転換への不安と動揺が広がっている。政権交代による本市への影響とその対策について伺う。

答弁 新政権となり執行停止となった事業は二事業あり、自主財源で事業化できないことから、三月補正で減額する予定である。暫定税率が廃止された場合の道路財源については、地方譲与税で約三億八千万円の減収を見込み、道路関係国庫補助金等への影響については、現時点での算定が難しい。農家の戸別所得補償制度の導入については、制度の内容が未確定で、影響の予測は難しい。また、中山間地域等直接支払制度は事業仕分け対象であるが、事務費縮減のみで、本体部分は要求どおりである。公共事業については、予算の削減により、必要とされる道路整備の遅れが懸念される。

南九州西回り自動車道、蘭牟田瀬戸架橋、市道横馬場田崎線等の道路予算の安定的確保のため、全国市長会等を通じて、より積極的に政府に働きかけたい。

シテイセールスの積極展開を問う



谷津 由尚

質問 シテイセールスは、市の将来を担う基幹と言うべき政策でなければならぬ。もっと活発・機

能的に推進するために、①効果のシミュレートをする全体構図を明確にする機能。②スクラップアンドビルドを積極的に進め、政策を進化させられる個別機能。これら二つの機能が働く具体策について見直し、活性化方法を提言するものである。今後の展開方針について伺う。

答弁 シティセールスは重点施策の一つととらえており、イメージアップ・観光コンベンション・スポーツ交流・商品発見開発・企業誘致・経済交流の五プロジェクトに絞り、進めていきたい。

また、いずれは、市民全員がシティセールスマンになっていただくようなまちにならなければ、観光地として売り出せないのです、提言されたことを踏まえ、研究していきたい。

「核兵器廃絶・世界恒久平和を希求する薩摩川内市宣言」の採択について



佃 昌樹

質問 旧川内市、また、薩摩川内市においては、議会は核兵器廃絶の宣言を採択してきた。私たちの

まちは二基の原発により確実にブルトニウムを生産していることから、核兵器転用を認めないという強い市民の意志を内外に示すことは崇高な行為である。行政として宣言への拒否の態度を見直し、採択してはどうか。原発増設とは次元の異なるものと考える。

答弁 非核平和の重要性は十分に認識している。陳情に川内原子力発電所一・二号機の停止や三号機の増設反対などが含まれている状況では、「核兵器」と「核」を誤解されるおそれがある。三号機の状況がはっきり方向づけられれば、市民に誤解を招くようなことがないと思われる。現状としては、宣言する考えはない。

林業振興における地域産材の活用について



江畑 芳幸

質問 林業の経営環境は厳しい状態が続くが、環境保護の面からも多くの森林振興策がとられている。県の森林環境税での事業を含めた事業と今後の方針を伺う。また、森林振興センター（仮称）を

設置しての長期政策が必要と考える。地域産材は公共施設への使用をもっとPRし新たな市場開拓も必要と思うが考えを伺う。

答弁 森林環境税は、竹林整備、森づくり推進員の経費に充当している。森林振興センター（仮称）については、広く長期的な視野で森林資源・林業経営等の林業振興政策を進めるため、関係機関等連携し、設置の必要性について研究したい。

地材地建については、本市の木材が建築現場の末端では特定できない流通の現状があるので、推進は難しいが、北薩森林組合管内で地域木材を集約し、良質の木材を安く安定的に、また、ニーズに合わせ供給するような広域的な取組が必要と考える。

指定管理者制度について



山之内 勝

質問 今議会提案の指定管理者候補に四件も薩摩川内市民まちづくり公社が指名されているが、同公社は基本財産が五千万円全額、市の出捐金で理事長は前収入役、副理事長を含め現職の市部長級六名

が役員となつていているほか、市職員も派遣されています。このような団体と民間の企業が対等の立場で競争できる道理は最初からないのではないか。

答弁 薩摩川内市まちづくり公社と民間企業との競争性について疑惑を感じるとのことであるが、指定管理者制度については、審査基準等に基づき厳正な審査を行っており、不正なことは、一切ないと考えている。



薩摩川内市民まちづくり公社

文化財構想の在り方



持原 秀行

質問 天辰第一地区土地区画整理事業地内において、墳丘古墳の石室が発見された。これは学術的にも非常に貴重で重要なものと考察し、郷土の歴史的遺産・貴重な資源として現地保存し、後世へ伝える事が私達の責務と考える。市内に存在する市民の共通財産である文化財保護の今後の推進方法について考え方をお示しいただきたい。

答弁 天辰寺前古墳については、本市の万代の歴史を誇る上で非常に貴重な発見と認識しており、保存方法としては、現地保存、移設保存、記録保存等があるが、来年、現地調査をお願いしている文化庁の専門家の文化財的価値に対する見解を踏まえて検討したい。また、文化財保護については、関係機関と連携を図りながら、その徹底と啓発に努めるとともに、歴史・文化的資源を生かした薩摩川内市の史跡・文化財の探訪ルートを設定し、観光・レジャーとのネットワーク化を図り、文化財の活用を積極的に推進していきたい。

甌島観光の今後の展望について



中島 由美子

質問 船から降りた後、初めて来島された方にとっては、交通網が不案内である。上甌島においては、利用しやすいレンタサイクルの整備が、また、甌島全体においては、バス等の行き先案内や時刻表案内の環境整備がそれぞれ必要と思うが、できないか。



薩摩川内市観光協会甌島案内所

答弁 上甌島のレンタサイクルは、現在、上甌支所に三台、観光協会甌島案内所に四台、計七台を配置している。夏場の利用はある程度

あるものの、年間を通じると、まだ少ない状況にあるので、内外へのPRに努めたい。なお、設置台数を増やすかについては検討課題であるが、利用率向上策として、電動アシスト自転車の配置を検討したい。

下船後の交通アクセスについては、現在実施中の「甌島地域における新たな公共交通体系構築調査」においてその対策を検討中である。当面の改善策として、甌島地域各港のバス停時刻表及び市営バスの車体側面に、それぞれ路線上にある主な観光地を表示するほか、各港待合所、フェリーニューこしき及び高速船シーホークの船内に島内の観光地に行きやすい、分かりやすい時刻表を早急に掲示したい。

生涯現役推進を積極的に進めるまちづくりについて



川添 公貴

質問 安心・安全な生活環境整備としてPPK運動施策は多く実行されている。高齢社会に対し、市長は限界集落支援に重点を置かれているが、全高齢者へ更なる支援・参加型や現役として社会貢献

の場の創設、生きがいづくりの維持・推進できる環境整備をどのようにするか。また、今後シティセールの一部として「生涯現役世代を積極的に進めるまち」で薩摩川内市を売り込みたいが、市長の見解を伺う。

答弁 生涯を通じた高齢者の生きがいづくりと社会参加を促進するとともに、高齢者の雇用、就労対策として、シルバー人材センターの運営を支援している。また、高齢者の自立した生活を支えるための在宅福祉サービスも実施している。

歴史・文化・観光・自然さらには生涯現役として暮らすことのできる本市の事業、取組などを取りまとめ、統一したハンドブック、マニュアルを作成し、本市に行きたい、買いたい、暮らしたいという気持ちの誘因を図りたい。

シティセールの推進について



瀬尾 和敬

質問 最近、シティセールスに関して精力的に広報宣伝活動が行われている。新幹線全線開通までに、

受入体制も併せて、シティセー
ルスを軌道に乗せておくべきだと考
える。各部署が横断的なシティ
セーリングを展開するために、(仮
称)「シティセーリング推進課」を
設置し、強烈にシティセーリングを
推進すべきだと思いがどうか。

答弁 九州新幹線全線開業に向け
ては、外向けの広報・宣伝だけで
はなく、公共交通機関の充実、来
訪者を迎える体制の充実が必要だ
と考える。

また、新たな組織の設置につい
ては、副市長直轄の部長級をあて
て総体的なまとめをしていくこと
としたい。できれば一月から遅く
とも四月には組織体制を充実させ、
専門的に取り組んでいきたい。

「宝の島」甌島への観光情
報発信のよりどころとして
の「島の駅」設置等につい
て



江口 是彦

質問 ①下甌島に観光案内所とし
て「島の駅」を設置してはどうか。
②甌島の自然、歴史、文化地域の
特徴や産業・経済の分野を網羅し
た「甌島ガイドブック」を制作し
てはどうか。③伝統織物ビーダナ

シ(芙蓉布)は、世界に一つしか
ない貴重な文化財である。保存継
承のため何かできないか。

答弁 ①甌島の観光案内所は、甌
全体を統括する場として、上甌島
に置いてあるが、下甌島にはない
ので、地元の方々の意見も聴きな
がら長浜か手打への設置を検討し
なければならぬと考えるが、現
段階では、定期船が着く時間帯だ
けでも観光案内ができないかを検
討したい。②観光協会甌島案内所
が作成予定と聞いている。本年度
に本市としても積極的に協力、支
援する考えである。③甌島の生活
文化を語る貴重な織物であり、こ
の郷土の伝統技術を継承し、ビー
ダナシを後世まで伝えてほしいと
教育委員会としても考えている。

できれば地元有志で提案公募型
補助金等を活用するなど、保存・
継承に取り組んでいただき、その
取組を積極的に支援して参りたい。

川内地区振興計画について



大坪 幹也

質問 県道四十三号(川内串木野
線)は現在高江インターの工事に
入っているが、久見崎から向田ま

での道路拡幅について示されたい。
また、平成二十四年に高江・水引
のインターは完成と伺っているが、
全線開通後の車利用調査等をされ、
国道3号山形屋前の歩行者天国に
ついて、歩行者天国に向け本市の
全面協力が必要と考えるが見解を
示されたい。



川内山形屋前

答弁 県道四十三号の高江から国
道三号の間は、南九州西回り自動
車道へのアクセス道路として、平
成十七年十二月に二車線で都市計
画決定されており、逐次整備中で
あるが、まずはこの区間の整備を
優先的に進められるよう、県へお
願いしている。国道3号の歩行者
天国については、県警等と協議を

しているが、市街地の国道3号が
幹線道路であり、交通量も非常に
多いことから許可されていない。
南九州西回り自動車道が完成した
後に車両の通行調査等をしながら
改めて県警や関係機関と協議して
いきたい。

医療制度について



井上 勝博

質問 高すぎる国保税は今でも払
いきれない人が多い。しかし市は
国保税の引上げを検討中である。
これ以上の引上げは払えない人を
増やしていくことになる。市は国
に対して国庫負担率を増やせと要
求し、当面は市の一般会計からの
繰り出しを行って国保税の引上げ
をやめよ。

答弁 医療費の伸びや基金の費消
により、現時点で平成二十二年度
の財源不足は約六億円と試算して
いる。国民健康保険税の引上げは
避けられない状況と考えている。
平成二十年度決算における本市の
国民健康保険税は、県内十八市の
各団体と比較すると、一人当たり
調定額は高い方から十二位、また、
一世帯当たり調定額は十四位で、

決して高い方ではない。国保制度の運営は、基本的に国保税と国庫支出金等で賄うべきであると考えられる。一般会計の財源に余裕があれば繰出しも考えられるが、市民の七十五%が国保以外の被保険者であることを考えると、やはり慎重にすべきであると考ええる。

交通安全対策について



森永 靖子

質問 国道3号から市道と光園線に入り、可愛地区コミュニティセンターに向かう諏訪保育園入口付近が大変狭く、車両進入の際に離合がとても困難である。道路幅も狭く、四メートルの箇所もあり住連木自治公民館やいろいろな施設もあり、交通量も多いことから危険である。停止位置変更について市長のご所見を伺う。

答弁 横断歩道や停止線等の路面標示は、県公安委員会が設置するが、過去に地元からの要望があり停止線の位置を変えたということである。今回、提言のあった停止線の位置変更という方法に加え、大型車両等の通行規制も含めて協議を行いたい。なお、道路幅員が

狭いことが一番の原因であるため、



諏訪保育園入口

サンアリーナせんだいのロビーの活用について



杉菌 道朗

質問 総合運動公園内の各施設は各競技やイベントなどに幅広く利用されている。先頃、薩摩川内市・中国常熟市間のスポーツ等交流事業が行われた。小中学生によるこの事業は今回で二十三回目である。そこで、交流事業の歩みを広く知ってもらうために、アリーナのロビーなどを活用し、記録写真などのパネル展示は検討できないか。

答弁 サンアリーナせんだいは、現在、サブアリーナの二階入口横にガラス張りの展示コーナーを設け、本市出身の木佐貫投手等のユニホーム等を展示している。また、エントランスホールの休憩コーナーには書棚を設置し、本市のスポーツ関係資料を提供している。御指摘のとおり、常熟市とのスポーツ交流の歩みを展示したり、この秋に合宿をした全日本男子、女子のバレーボールチームや千葉ロッテマリーンズ等の紹介をすることは非常に有意義と思うので、今後、安全面、景観、展示の有効活用等を考慮しながら、新たな展示コーナーの設置を検討したい。



エントランスホール(サンアリーナせんだい)

**各常任委員会
報告**

各常任委員会は、それぞれ付託された議案の審査等を行い、主に次のような意見・要望が述べられました。

総務文教委員会
委員長 瀬尾 和敬

十二月十七日、十八日開催

所管事務調査

- ①特にAEDが設置されている施設等においては、更なる普通救命講習の実施に取り組まれない。
- ②市民の防災意識の高揚に資する設備を備えた消防庁舎を一日も早く新設できるよう、早急に取り組まれない。
- ③学校の適正規模や統廃合に係る基本方針策定に当たっては、議員も交え、十分に議論されたい。
- ④市民大学講座や公民館の自主学級等については、幅広く市民が参加できるように在り方を検討されたい。
- ⑤天辰寺前古墳については、地域

の財産として現地保存できるよう努められたい。

⑥地域の産品を学習する意味でも、学校給食における地場産品の更なる活用に努められたい。

⑦市有財産については、財源確保のため、今後、売却等についても積極的に検討されたい。

企画経済委員会

委員長 古里 貞義

十二月十六日開催

(一) 議案第百七十七号 平成二十一年度薩摩川内市一般会計補正予算のうち本委員会付託分

①世界一郷水車については、今後具体的な事例を参考に検討しながら、水車を活用した活性化策に努めるとともに、シテイセールの観点からも観光面での取組を検討されたい。

②鳥獣被害対策については、関係課と連携しながら積極的に取り組まされたい。

③中郷地区の天神池については、水質管理を含め、今後も適切な維持管理に努められたい。

④祁答院地区の矢立農村公園の運営については、費用対効果を検討しながら取り組まれたい。

所管事務調査

①甌島地域の肉用牛価格が本土地域に比べて低額であることから、甌島地域の技術レベルが向上するよう、引き続き指導に努められたい。

②畜産経営維持緊急支援資金については、選定されていない農家にあっても、経営が厳しいところもあることから、農家の意向や経営状況を十分把握し、必要な支援を講じられたい。

③立地協定が締結された鰻加工場に、薩摩川内産の成鰻が供給できるように、市としても協力されたい。

④祁答院地区の蘭牟田池や新田地区の濁水対策として、荒廢地に溜池を造ることなども研究されたい。

⑤グリーンツーリズム事業については、今後も積極的に取り組まれたい。

市民福祉委員会

委員長 福元 光一

十二月十六日開催

(一) 議案第百七十七号 平成二十一年度薩摩川内市一般会計補正予算のうち本委員会付託分

①住民基本台帳カードについては、

市民の意見も確認の上、更なる多目的機能の付加を検討されたい。

②放課後児童健全育成事業を推進する上で課題となっている児童クラブの設置場所については、小学校の余裕教室等の活用について教育委員会と十分協議されたい。

所管事務調査

①新型インフルエンザワクチンの接種については、市と医師会の取組を高く評価するものであり、保健事業推進のためにも、更に医師会との連携に努められたい。

②蘭牟田池に関する諸問題については、祁答院支所に総合的窓口の設置を検討されたい。

建設水道委員会

委員長 石野田 浩

十二月十七日開催

(一) 議案第百七十六号 普通公園(鹿島地域)の指定管理者の指定について

①指定管理者制度については、民間、NPO法人等の活用について積極的に検討し、制度そのものの方にについても検討されたい。

②指定管理者の選定基準について

は、より客観性を持たせられるような方法について、今後も継続して検討されたい。

③地域の要望で設置した公園等については、アダプト制度の導入や各地区コミュニティへの委託等、地域に根差した新たな管理体制などについても、積極的に検討されたい。

④現在、指定管理者に管理を行わせている施設について、一部、管理に指導を要する施設も見受けられることから、管理の徹底を指導されたい。

(二) 議案第百七十七号 平成二十一年度薩摩川内市一般会計補正予算

①国の政策変更による本市の各種事業への影響については、事業を見直す必要に迫られることも考えられるが、その際は、土地区画整理事業等、市民の財産に直接関係のある事業については、事業の進め方や、財源見直しを含めて慎重な対応に努められたい。

②がけ地近接等危険住宅移転補助については、制度内容について広く周知し、事業推進に努められたい。

③市営住宅の退居に係る修繕については、入居が速やかに行えるように、必要な予算の確保に努められたい。

(三) 請願第九十二号 下甌町瀬々野浦と長浜を結ぶトンネル建設に関する請願

本請願は、慎重な審査を行い採決の結果、起立者なしにより不採択とすべきものと決定した。

①甌島全体としては、現在も蘭牟田瀬戸架橋、青瀬トンネル工事、県道の整備等が進められているが、本請願の瀬々野浦と長浜を結ぶトンネル建設については、四千九百三人の署名があったことを含め、請願の趣旨は十分理解できるものの、現在の事業進捗を踏まえ、時期尚早であると考えられる。については、今後、各種事業の整備状況を見ながら、しかるべき時期がきた際に改めて検討すべきである。

②瀬々野浦と長浜を結ぶ道路は、地域住民にとつての重要な生活道路であることから、既存の道路改良を含め、少しでも安心感の得られるような改善策を検討、実施しながら、必要に応じ、関係機関に対し働きかけるよう努められたい。

所管事務調査

①水道事業の経営に当たっては、先進事例に学びながら、料金等の早期統一、経営の合理化に努められたい。

②指定管理者施設については、市

民サービス向上のため、指定管理者制度の運用方法の見直しも含め、管理体制の在り方を再検討されたい。

③下水道事業の推進に当たっては、企業誘致も視野に入れたインフラ整備として位置付け、各課の横断的な連携を図りながら、今後の下水道事業の導入を検討されたい。

④下水道接続については、引き続き住民との話し合いを行い、積極的な啓発活動に努められたい。

⑤下水道事業の効果的な推進策として、地域全体に浄化槽を設置した方が望ましい場合は、市による浄化槽設置も視野に、新たな効果的手法についても積極的に検討されたい。

⑥南九州西回り自動車道インター周辺は、市の顔ともなるものであり、特定用途制限地域を指定する際は、地元の意向も踏まえ、関係課とも連携を図りながら、地域振興に結びつくよう進められたい。

各特別委員会 報告

各特別委員会は、次の項目について審査を行いました。

議会改革特別委員会

委員長 堀之内 盛良

九月二十四日、十月十九日、十一月四日開催

(一) 一問一答方式の導入について

薩摩川内市議会基本条例第十二条第二項の規定に基づき、議員と市長等との質疑応答における論点・争点を明確にし、市民にとつて分かりやすいものとするため、一問一答方式の導入について審査を行った。

審査の結果、本会議及び委員会すべての質疑・質問において、平成二十二年三月定例会から一問一答方式を導入すべきものとした。新たに導入する一問一答方式は、初回の質問から一問一答で行う方式と、初回の質問は従来の一括質疑・一括答弁で行い、再質問から一問一答で行う併用方式の二つの方式とし、従来の一括質疑・一括答弁方式も含め、三つの方式のいずれで行うかを質問者が選択できるものとした。

また、論点・争点を明確にするため、市長等の発言において、議長又は委員長の許可を得て、質疑・質問の趣旨を確認するための

反問を認めるものとした。

(二) 総括質疑と一般質問の取扱について

現在、「総括質疑並びに一般質問」として行っているが、その取扱いについて審査を行った。

審査の結果、委員会中心主義としてしていることから、実情として総括質疑は少なく、また、除斥を要する議案を単独の議題とする必要があるなど手続に留意すべき点があるものの、現時点では、総括質疑と一般質問を分ける必要はないものとした。

十一月四日、二十四日開催

(一) 質問通告の在り方について
薩摩川内市議会基本条例第十二条第二項の規定に基づき、議員と市長等との質疑応答における論点・争点を明確にするため、質問通告の在り方について審査を行った。

審査の結果、質問通告書の記載内容、通告時期等については、これまで以上に改善した事項もあることから、現行のとおり取扱いとするものとした。

なお、質問通告の方法については、通告書持参を原則とするものの、ファックス又はメールでの提出も認めるものとした。

原子力発電所対策調査 特別委員会

委員長 池脇 重夫

十月十六日開催

(一) 川内原子力発電所の運転状況等について

当局から、一号機は平成二十年十二月十日に第十九回定期検査を、二号機は本年三月二十五日に第十八回定期検査を終了し、それぞれ通常運転に復帰していることの報告を受けた。

次に、放射性廃棄物の管理状況について、気体廃棄物及び液体廃棄物の放出量は年間放出管理目標値を下回り、かつ、検出限界値以下であること、固体廃棄物の貯蔵量は貯蔵率四十六・七％であることとの報告を受けた。

次に、使用済燃料の保管状況について、本年八月末現在、一号機・二号機の合計で、貯蔵率が五十七・六％であるとの報告を受けた。

次に、法に基づき国へ報告を要する事象及びその他の事象について、該当がないこととの報告を受けた。

次に、二号機の蒸気発生器及び

蒸気タービン取替えについて、その概要の説明があり、蒸気発生器は平成二十六年年度の定期検査で、蒸気タービンは平成二十二年度の定期検査で取替予定であるとの報告を受けた。

次に、川内原子力線電線張替工事の計画について、昭和五十八年五月に使用開始している同設備のうち、川内原子力発電所から約十八キロメートルの地点まで電線の張替工事を行う計画であることとの報告を受けた。

次に、九州電力(株)による三号機増設計画に係る地区説明会の実施状況について、阿久根市及びいちき串木野市を含め七二地区、一六六八人の参加があった旨の報告を受けた。

なお、審査の過程において、原子炉容器の長期運転による影響についての質疑があり、原子炉容器内には試験片を設置し、脆性化の監視を行っていること、また、三十年を経過して運転する場合は、保全計画を策定して国の審査を受け、安全確保に努めていく必要がある旨の答弁があった。

(二) 「川内原子力発電所三号機増設計画に係る環境影響評価準備書」に対する経済産業大臣勧告について

当局から、九州電力(株)に対し経

済産業大臣から勧告があったこととの報告があり、今後の環境影響評価書の手続について説明を受けた。なお、調査の過程において、今後の事務スケジュールについての質疑があり、環境影響評価書の提出及び国主催による公開ヒアリングの実施が見込まれる旨の答弁があった。

産業廃棄物管理型最終 処分場対策調査特別委 員会

委員長 小牧 勝一郎

十一月十六日開催

公共関与による産業廃棄物管理型最終処分場に関する諸問題について

参考人として、鹿児島県環境部管理型処分場建設推進センターの新川所長、種子島次長、福永施設整備課長、大津技術専門員及び宮原技術主査並びに同部廃棄物・リサイクル対策課の寶満参事及び藤崎参事に出席要請をし、公共関与による産業廃棄物管理型最終処分場基本計画(案)について説明を求めた。

まず、参考人から、公共関与による産業廃棄物管理型最終処分場

基本計画(案)概要及び鹿児島県産業廃棄物専門委員会(十一月十日開催)での主な意見等について説明を受け、その後、基本計画の決定方法、基本計画(案)へ反映した地元自治会等の要望事項、県の産業廃棄物の処理に関する指導要綱に関する手続、今後のスケジュール、地元自治会への説明状況、受入廃棄物の種類、悪臭防止の方法、大気汚染に係るモニタリングの必要性の有無、鹿児島県から他県に搬出している廃棄物の種類と発生量、浸出水の塩分処理の考え方、処分場の基準等について質疑があった。

この中で、処分場の基準の考え方については、基本的には法令等に基づく処分場に係る技術上の基準を遵守することとし、また、二重の遮水シートだけでなく、バックアップ機能を付けるなど、最新の技術で最大の安全性を旨指しているが、最終的な責任は鹿児島県が負う考えである旨の回答があった。

なお、審査の過程において、基本計画(案)の地元説明に当たっては、住民が納得するまで十分な説明を実施されたい旨の意見が述べられた。

平成二十年度

決算を認定

平成二十年度決算審査 特別委員会

委員長 新原 春二

平成二十年度決算審査特別委員会は、十一月九日から十一月十九日までの六日間開催され、平成二十年度薩摩川内市一般会計歳入歳出決算、十六特別会計歳入歳出決算、平成二十年度薩摩川内市水道事業会計決算、平成二十年度薩摩川内市工業用水道事業会計決算及び平成二十年度薩摩川内市自動車運送事業会計決算は、既に監査委員の審査意見書により、計数は正確であることが報告されているので、本特別委員会は、各会計の予算執行の適否及びその行政効果をただすとともに、決算審査が今後の市の行政の計画及び実施並びに財政運営の在り方に示唆を与え、有効に生かされることを審査方針とした。

また、審査の方法は、まず、事前に現地視察を行い、審査日程の決定に基づき、当局から平成二十年度の決算概要の説明及び監査委員の審査結果の報告を受け、その

後、各部・局、課、室、機関ごとに審査を行った。

さらに、当局から決算審査の資料として提出された決算附属書等の諸資料を審査の参考とした。

決算の概要

「平成二十年度一般会計の最終予算現額は五百三十四億四千七百二十七万六千円、歳出決算額は四百七十七億九千四百五十万五千円となった。平成二十年度は、平成二十年度政策展開に関する戦略的な基本方針に基づき、総合計画上期基本計画の基本施策を着実に進めながら、地域力再生、都市力創造など『薩摩川内市一体化躍動プラン』のうち戦略テーマを設定し事業展開を図るとともに、急激な内外の金融・経済情勢の変化に対応するため、雇用創出や地域経済対策などの行政課題への最大の配慮に努めてきたが、今後においても、社会経済情勢を注視しつつ、市民ニーズに的確かつスピーディに対応できるよう、なお一層の行財政改革の推進に努めて参りたい」との報告の後、「一般会計と十六特別会計の歳入歳出差引残額二十八億九千一万三千円から、繰越明許費の翌年度へ繰り越すべき財源八億六千三百四十八万九千円を控除

した実質収支は、二十億二千六百五十二万四千円の黒字決算であった」との説明を受けた。

監査委員の決算審査

意見の概要

決算の状況及び審査の結果並びに意見・要望については、決算書類とともに配布している意見書のとおりであるが、各会計及び企業会計の決算計数は正確であり、会計諸帳簿と一致し、証票書類と符合しており、予算の執行についても、おおむね適正に行われているものと認めた。各基金の運用状況についても、それぞれの基金の設置目的に沿って、おおむね適正に運用されており、基金残高も正確であることを認めた。また、健全化判断比率及び公営企業会計ごとの資金不足比率の審査について、健全化判断比率及び公営企業会計ごとの資金不足比率、また、その算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されていると認めた。

なお、平成二十年度各会計決算等は、いずれも所期の目的に即した成果を収めた決算内容となっている。

当該年度の決算は、平成十六年十月に市町村合併して五年目の決

算であり、一般会計及び特別会計の合計で前年度と対比すると、歳入が八十九・八%、歳出が八十九・一%とそれぞれ減少している。

また、本市の財政分析指標を前年度と比較すると、財政力指数は〇・五一で前年度と変わらないが、経常収支比率は九十二・八%で一・七ポイント、公債費比率は十二・三%で一・一ポイントそれぞれ改善されており、依然として高い数値を示しているが、経常経費の削減努力により、硬直化した財政状況は改善の途上にあるといえる。本市の財政状況を考えると、主要な自主財源である市税は、平成十九年度からの税源移譲に伴い市民税は一時的に増加したが、今後においては低迷する景気や雇用情勢などから大きな伸びは期待できず、加えて収入未済や不納欠損の発生など、自主財源の根幹をなす市税の確保は厳しい状況にあると言わざるを得ない。このような厳しい財政状況にもかかわらず、市民の行政に対する期待と要望は大きく、今後も財政需要が増大すると思われるが、健全財政への道筋を堅持しながら、第一次総合計画に掲げる『市民が創り市民が育む 交流躍動都市』の具現化を目指し、市民福祉の向上と市勢発展に向けた施策を展開され

ることを切望するものである」との報告・説明を受けた。

その後、審査日程に従って、各部署長から決算附属書を中心に所管事項に関する主要施策の成果についての説明を受け、引き続き、各課・室長等から各会計決算書に基づく決算内容についての説明を受け、質疑を行い、慎重に審査を進めた。

主な意見・要望

【一般会計関係】

(企画経済委員会関係)

- ① 指定管理者制度を導入している施設については、制度を見極め、十分に精査の上、民間への譲渡も検討されたい。
- ② S M A R T 発表に関する準備等については、平常業務の負担とならないように工夫されたい。
- ③ 部局・支所経営方針については、全職員が共通理解する中で取り組まれたり。
- ④ 支所の組織機構の見直しを行う際には、地元の意見を聴いて慎重に取り組まれたり。
- ⑤ 自治基本条例については、市民に十分に浸透していないことから、周知方法についても検討されたい。
- ⑥ まちづくり懇話会やパブリックコメントを行う際には、より効果的な実施方法について研究された

い。

- ⑦ 生涯学習については、地区コミュニティ協議会と連携した体制づくりに努められたり。
- ⑧ 地区コミュニティ協議会への支援策については、その活動状況も考慮して、適切な支援に取り組まれたり。
- ⑨ ホームページについては、常に最新の情報となるよう更新された。
- ⑩ 広報電話を市民が活用できるように周知されたい。
- ⑪ 農業委員会については、地域の意見を反映させるために、国、県に対しても建議を提出するよう努められたり。
- ⑫ 農業で暮らしていくには、生産コストを下回らない収入を確保する必要があるので、市独自の農産物価格保障制度の創設も検討されたい。
- ⑬ 鳥獣等による農産物の被害が増加していることから、抜本的な防止策を検討されたい。
- ⑭ 松くい虫による松の被害が拡大していることから、更なる駆除と被害予防に努められたり。
- ⑮ 市有林については、今後も適切な維持管理に努められたり。
- ⑯ 中小企業対策利子補助金については、一〇〇%補助での事業を今後も継続されたい。

⑰ 甌島の観光船の活用策について研究されたい。

⑱ 観光遊覧船を利用した甌島クルージング事業は、甌島の知名度アップにもつながることから、今後継続されたい。

(市民福祉委員会関係)

- ① 市民課窓口における自治会加入促進の取組を強化されたい。
- ② 住民基本台帳カードについては、更なる機能付加に努め、普及策を検討されたい。
- ③ 認知症等の介護予防事業の充実に取り組まれたり。
- ④ がん検診の受診率向上に更に努められたり。
- ⑤ 介護認定審査事務の適正化に努められたり。
- ⑥ 介護認定の制度改正に伴う再申請について、本年四月から九月までの新規認定者に対しても周知されたい。
- ⑦ ひとり親家庭等医療費助成の申請手続の簡略化に取り組まれたり。
- ⑧ 保育料の収入未済額が多額になっていることから、更なる徴収に努められたり。
- ⑨ 地区コミュニティ協議会を中心とした地域福祉活動の推進に当たっては、引き続き市と市社会福祉協議会の連携による市民への啓発に努められたり。
- ⑩ 水質保全の観点から、小型合併

処理浄化槽の整備促進を図るよう、補助金の増額を検討されたい。

⑪ 蘭牟田池に関する諸問題については、関係部課所の連携を密にし、対策を講じられたい。

(建設水道委員会関係)

- ① 大小路地区の河川改修については、都市計画道路の整備と関連することから、引き続き国に対し要望されたい。
- ② 甌島における指定管理者による普通公園の管理については、特に観光振興を積極的に進める観点から、観光客等の目につく場所であることを考慮した適切な維持管理に努められたり。
- ③ 維持補修工事により側溝蓋等の不要な資材が発生した場合は、緊急対応時の原材料として使用するなど、再利用についても検討されたい。
- ④ 国道3号の電線類地中化については、御陵下地区においても実施できるように国等に対し要望されたい。
- ⑤ 市営住宅のトイレ水洗化にあつては、建築年度の古い住宅についても対象とし、可能であれば洋式トイレとして整備を進められたい。
- ⑥ 増加傾向にある市営住宅使用料の滞納対策については、連帯保証人への請求、あるいは法的手段の行使も含め、強固な姿勢で滞納処

理に当たられたい。

⑦老朽化の進む市営住宅については、管理が行き届かず荒れた状態のものも見受けられることから、入居者自身が管理すべき部分に対する改善指導、周辺美化等を含め、市有財産としての適正管理に努められたい。

(総務文教委員会関係)

①薩摩川内元気塾の実施に当たっては、学習指導要領に基づく授業時数を確保し、かつ、教師の負担が増加しないように努めながら、子どもたちに夢を与える事業となるよう充実されたい。

②新設教科の実施に当たっては、各学校との連携を密にし、授業時間を十分確保できるよう努められたい。

③奨学資金貸付者の返還額の滞納については、徴収体制を強化するとともに、徴収方法を工夫し、徴収率向上に努められたい。

④就学援助費の中に八十%の給食費算定があることから、せめて就学援助費の中からは給食費に一〇%充当できるよう指導されたい。

⑤廃校になった学校の備品等については、他の学校等で活用するなど、有効活用を努められたい。

⑥学校における寄贈品や備品等財産の適正な維持管理に努められたい。

⑦学有林を市有林に切り替えるなど、取扱いを変更するに当たっては、地域と連携しながら取り組まられたい。

⑧漁村留学制度については、留学生の出身地や受入先となる学校を限定しない多様な対応の在り方を検討されたい。

⑨清色城跡や入来麓伝統的建造物群保存地区等の文化財は、地域の財産として一体的に整備して情報を発信し、住民と連携しながら活用されたい。

⑩市民運動会の実施に当たっては、地域性等を考慮しながら柔軟に対応するとともに、更に市民に親しまれる運動会となるよう努められたい。

⑪給食センターについては、安心・安全な給食を提供するために十分な環境が整っているのか再チェックし、問題点については、早急に改善されたい。

⑫給食センターの統廃合により使用しなくなった施設・設備の中には、まだ十分使えるものもあることから、有効活用できるような方策を講じられたい。

⑬少年自然の家の老朽化施設については、事故防止を第一に考え、日ごろから適切な点検を行うとともに、早目の改修に努められたい。

⑭子どもたちが大きな感動を得ら

れる「薩摩川内ぼっけもんの旅」のような事業については、今後も積極的に取り組まられたい。

⑮消防車両の入替えについては、同時期に錯綜するおそれがあることから、入念な計画を立て、万全の体制で取り組まれたい。

⑯職員が職務上出席する研修会や意見交換会などの負担金について、必要なものについては、予算措置をされたい。

⑰公用車の入替え等に伴い、古い車両を処分する際は、インターネットオークション等の手法により、少しでも高額で処分できるように方策を検討されたい。

⑱自主財源確保のためにも、収納対策課における徴収体制の一層の強化に取り組まれたい。

⑲高齢者ゆうゆうドライビングスクールについては、受講者の増に努め、今後も積極的に取り組まれたい。

⑳防災行政無線戸別受信機については、災害の危険度の高いところから早急に設置するよう努められたい。

㉑防災に関する機能を一体的な施設の中に集約するよう検討されたい。

㉒合併特例債については、財政健全化と両立させながら、より有効な使い方について検討されたい。

【簡易水道事業特別会計関係】

①鹿島地域海水淡水化装置については、維持管理費がかさんでいることから、他の地区の濁水対策等も参考に、早期に抜本的対策を検討されたい。

②老朽管等の敷設工事に当たっては、工事の影響を受ける小売業者を含めた関係者に対し十分配慮されたい。

【公共下水道事業特別会計関係】
工事請負費の執行残が多額になる場合は、補正予算により減額補正を行うなど、予算の適正管理に努められたい。

【農業集落排水事業

特別会計関係】

事業費に一般財源も充当していることから、引き続き、加入率の向上に努められたい。

【天辰第一地区土地区画整理

事業特別会計関係】

区画整理対象地区については、大雨等の災害時の浸水、土砂崩れ等への目配りを怠ることなく、また、常に地元住民との接点を持つことを心がけ、信頼関係の構築に努められたい。

【水道事業会計決算関係】

①水道料金の未納者への対応については、市民への公正・公平な観点からも、給水停止措置も含め厳格に対応されたい。

行政視察報告

■総務文教委員会

- 一 調査事項 ①教育行政について
- ②消防・防災行政について
- 二 調査先 甌島地域
- 三 調査項目
 - 全小・中学校、旧浦内小学校、中央消防署上甌分駐所及び下甌分駐所、蘭牟田瀬戸一号トンネル、恐竜化石発見現場並びに航空自衛隊下甌分屯基地
- 四 調査日 十月二十六日・二十七日（二日間）
- 五 出席委員 瀬尾委員長、徳永副委員長、橋口委員、小牧委員、今塩屋委員、井上委員、川添委員、江畑委員
- 六 調査の目的

②漏水による水道料金の減免措置については、申請により一期分を遡及し、減免としているが、サービス向上の観点から、水道使用量メーター検針の際に漏水の可能性を使用者に的確に連絡するなど、更なる早期対応に努められたい。

【自動車運送事業会計関係】
抜本的な経営見直しに当たっては、住民の不利益にならないよう配慮されたい。

甌島における教育行政、消防・防災行政及びその他所管に関する施設の現況と課題を把握する。

七 所感

教育現場においては、どの学校においても、子どもたちがのびのびと学んでいる姿に安堵するとともに、すべての学校で、一部、複式学級が採用されている点や、今後も児童減少は避けられないことを考えると、子どもたちの健全育成や小中一貫教育推進の観点から、地域や保護者とともに学校教育の在り方について議論していく必要があると感じた。

また、消防・防災行政に関しては、下甌・上甌の各分駐所職員が限られた人員による厳しい勤務条件の中で職務に当たっており、過疎化・高齢化も含めた甌島地域ならではの課題の多さを再認識した。今後も、地域住民と連携しながら、市民の安心・安全が守られるよう期待したい。

なお、今回、開通したばかりの蘭牟田瀬戸一号トンネルをくぐり、鹿島から対岸の上甌島を眺めながら橋梁の架かる位置の説明を受け、位置関係を確認する機会を得た。間近に上甌島を望み、将来橋でつながれば、甌島地域の一体化はもたららん、教育文化の交流、防災安全の向上、医療福祉の向上、観光

行政の推進、経済力の向上などが図られるという期待がますます膨らんだ。これらのためにも、蘭牟田瀬戸架橋の早期の完成を望むものである。

■企画経済委員会

- 一 調査事項 ①観光振興について②商業振興について③企業・工業の振興について
- 二 調査先 北海道斜里町、網走市
- 三 調査項目
 - (一) 斜里町における観光振興の取組について
 - (二) 網走市における事業化等スタートアップ支援事業、ものづくりフォロワーアップ事業について
- 四 調査日 十月五日から八日まで（四日間）
- 五 出席委員 古里委員長、森永副委員長、杉園委員、福田委員、高橋委員、佃委員、東委員、小田原委員
- 六 調査の目的
 - 観光振興及び中小企業等活性化施策の現状と市の取組について学び、薩摩川内市への応用、展開を検討するものである。
- 七 所感

①本市にある数多くの観光資源を活用して、トータル的な魅力を創出していくことが重要である。特に、甌島は、有名な観光地になり得ることから、地元の見聞を聴きながら、何から・どこから・いつから手掛けていくのか、早急に検討していく必要がある。

②本市においては、「おもてなしの心」が感じられるような受入体制の充実が、喫緊の課題である。また、観光客を受け入れるための最低限の施設が必要であり、行政において、民間が参入しやすい仕掛けをつくる必要がある。

③先進地をまねるのでなく、独自性のある魅力を発信していくことが重要であり、本市のツーリズム推進活動事業も、メリハリのあふる展開を期待したい。

④旅行エージェント頼りの観光誘致から、リピーター、滞在型、少人数旅行等の観光形態にシフトしており、広範囲のターゲットにどのように情報発信していくかが大きな課題である。

⑤薩摩川内エピソード百事業を活用した観光資源の発信や、広域観光ルートの開発事業に努め、四季にわたる観光ルートを模索する必要がある。

⑥新鑿真号や九州新幹線全線開業などを生かし、韓国やアジアから

の観光客へのピーアールが、今後重要なポイントとなる。

(二) 網走市における事業化等スタートアップ支援事業、ものづくりフォロワーアップ事業について

①「産業構造の転換なしには発展は不可能」という担当者のコメントにうなづけるものがあり、アイデアから製品開発、促進、販路開拓まで補助事業が段階的に実施され、有機的につながっているユニークな政策であると感じた。

②CMを活用した宣伝効果が大きいことが確認できた。特に、一企業の製品を行政が宣伝するという姿勢には珍しいものがある。

③シテイセールスの観点からも、付加価値のある特産品開発を、市を挙げて取り組む必要がある。

④中小企業を育てる方策として、商品化への積極的な支援等が必要であり、本市においても、名物弁当開発事業を実施しているが、更に中小企業の幅広いアイデアを生かせるような制度に拡充していく必要がある。

⑤国の補助が得やすい産学官連携の研究開発等を、積極的に検討していく必要がある。

■市民福祉委員会

一 調査事項 ①環境保全について

て②国保介護について③子育て支援について

二 調査先 埼玉県羽生市、東京都稲城市、千葉県習志野市

三 調査項目

(一) 汚泥再生処理センター運営事業について

(二) 介護支援ボランティア事業について

(三) 幼保一元化施設運営事業について

四 調査日 十月六日から八日まで(三日間)

五 出席委員 福元委員長、大坪副委員長、江口委員、川畑委員、大田黒委員、堀之内委員、永山委員、新原委員、中島委員

六 調査の目的

本市において事業が実施中である、あるいは今後実施予定である汚泥再生処理センター運営事業及び介護支援ボランティア事業について、また、今後導入されるであろう幼保一元化施設運営事業について、その事業を先行して実施している他市を視察することにより、その導入効果等を学ぶことを目的とした。

七 所感

羽生市の汚泥再生処理センターは、従来のように、し尿や浄化槽汚泥を処理するだけでなく、生ごみなどの有機性廃棄物も併せて処理し、汚泥等の資源化を図る最新の施設であった。本市が整備を進めようとしている施設も、このようならばらしい設備の整ったものになるよう、羽生市を参考にしながら整備にかかわっていきいたいと感じた。

稲城市の介護支援ボランティア事業は、一定の社会参加活動をした者に対し、活動実績に応じて実質的に保険料負担を軽減するもので、高齢者が介護支援ボランティア活動を通じて介護予防を推進し、よりいきいきとした地域社会となることを目的としている。本市でも本年四月から実施している事業であるが、先進事例では、高齢者の方々がいきいきと、目的を持って毎日を生きておられる様子を感じることができた。

習志野市の幼保一元化施設運営事業では、子どもたちが安心して健全に成長できるよう、認定こども園を地域の子育て・子育てのネットワーク基地として、また、地域に開かれた子育て・子育て支援の拠点としており、幼稚園・保育所の合同施設にこどもセンターを設置することにより、各家庭のニーズに応じた保育や子育て支援を実施している。また、幼稚園・保育所のノウハウを融合させた習志野就学前保育一元カリキュラムに

よる保育や子育て支援を提唱し、実施することにより、幼保一元化を推進している。認定こども園のようにすばらしい施設があることは、子育て中の親にとっては嬉しいことであるが、待機児童の数などを把握した上で、行政、保育所、地域で十分な協議を重ね、推進していくべきであると感じた。

■建設水道委員会

一 調査事項 上下水道事業について(下水道料金体系の在り方及び温泉場地区の活性化計画について)

二 調査先 福岡県朝倉市、熊本県荒尾市

三 調査項目

(一) 朝倉市の下水道事業と温泉場地区活性化計画について

(二) 荒尾市の下水道事業について

四 調査日 十月二十九日・三十日(二日間)

五 出席委員 石野田委員長、谷津副委員長、上野委員、池脇委員、宮里委員、宮脇委員、山之内委員

六 調査の目的

本市の貴重な財産である温泉を生かした振興策、あるいは土地区画整理事業と一体的に進められて

いる温泉場地区の各種事業展開に当たって、その取組方法等について、先進事例を調査するものである。

また、下水道事業については、接続率の向上に関する課題が顕著となっている。

下水道事業は、投資先行型の典型的な事業であるため、施設完成後は、対象地域の居住者においては、趣旨賛同の上、接続されなければならぬが、現状は五十%レベルの接続率であることを問題としてとらえているものである。

公共下水道は、生活雑排水による環境汚染を解決する重要な策であり、公共による特別事業の一つとして永続的に成立しなければならぬ。ひいては、環境保全に對し、継続的な改善を実行できるものであるからこそ、今後の下水道事業の料金体系を含む接続率と運営全般を、原点から考える機会とする。

七 所感

本市の課題である下水道接続率向上に對しては、環境保全の目的と長期経済性の二点から、短期集中体制によって臨むべきである。

また、下水道事業は、先行投資事業であるがゆえに、接続率と料金設定には密接な相関作用が働く。処理料金と公債費比率の考え方に

はバランス感覚が必要であり、使用料と経営健全化の交差する一点が、健全な料金領域であることを認識すると同時に、下水道普及率は薩摩川内市の印象となり得ることも理解しておかなければならない。

温泉を生かした振興策については、時間と労力、多額の経費を必要とすることであるがゆえに、先に「本市への応用展開」の項で述べたとおり、統一コンセプトに沿った計画により、時間や金の無駄の排除を実行できる環境を構築しなければならぬ。

今回の調査・視察により見えてきたこととして、それぞれの事業推進が企業誘致や定住促進、あるいは観光振興に對し、十分に後押しできる力となり得ると実感し、今後の積極的な事業展開を望むものである。

河川改修対策調査

特別委員会

一 調査事項 川内川及び中小河川の改修事業に関連する諸問題について

二 調査先 広島県広島市

三 調査項目

京橋川水辺のオープンカフェ

四 調査日 十月二十日・二十一日

日(二日間)

五 出席委員 今塩屋委員長、持原副委員長、瀬尾委員、古里委員、石野田委員、高橋委員、宮脇委員、谷津委員

六 調査の目的

今年度から実施している川内川向田・開聞地区堤防の質的強化対策工事と併せ、かわまちづくり支援制度を活用した向田地区水辺再生事業(仮称)が実施される予定となっており、今後、地域の意見を反映させた新たな水辺の利活用策等が検討されることから、先進地である広島市の京橋川水辺のオープンカフェについて視察を行い、本市への応用を検討する。

七 所感

広島市においては、オープンカフェの設置で水辺における新たなにぎわい空間が創出されたことにより、新たな都市の楽しみ方が生まれ、都市観光のスポットとしての定着や環境改善、まちづくり活動の誘発など多様な効果が見られた。成功のポイントとしては、国土交通省の特例措置実施に結びつけることができたことにより、利用制限の厳しい河川空間における商業的利活用が明確に位置付けられ、法的制約をクリアする道が開けたこと、推進協議会が実施主体となることで、「水の都ひろし

ま」の実現という共通の目標のもと、官民の垣根を越えた協力体制を構築できたことが大きい。また、ふさわしい立地場所の選定、民間の創意工夫を生かしやすい条件を設定することも重要である。

我が薩摩川内市も、「水の都」にふさわしい個性と魅力ある風景づくりを目指し、官民協働により取り組んでいくべきであり、景観だけの目的ではなく、観光地としての役割を持たせるほか、水辺を市民に身近なものとするのが重要であると考ええる。

また、今年度から川内川向田・開聞地区堤防の質的強化対策工事が始まるが、

①計画は、初期から最終の形までのビジョンを明確に構築し、一ステップずつ確実に実行する。
②事前に予想される障害などを挙げ、対応策を決めて進める。
③資金の在り方について、市の範囲と民間(個人)の範囲を決めておく(個人投資額の上限を決める)。

④中心市街地活性化構想とのリンクを常に認識し、これらを含めたビジョンとする。

など、広島市の取組から応用できる部分は、大いに参考にすべきであると考ええる。

◎平成21年第5回定例会議決結果

議決結果下欄の（ ）について
 全会一致…出席議員全員が賛成
 賛成多数…出席議員のうち賛成者が多数

企画経済委員会への付託分

議案番号	件名	議決結果
議案第165号	薩摩川内市定住自立圏形成方針を定めるについて	原案可決 (賛成多数)

市民福祉委員会への付託分

議案第166号	薩摩川内市乳幼児医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 (全会一致)
議案第187号	平成21年度薩摩川内市国民健康保険事業特別会計補正予算	原案可決 (全会一致)
議案第188号	平成21年度薩摩川内市国民健康保険直営診療施設勘定特別会計補正予算	原案可決 (全会一致)
議案第189号	平成21年度薩摩川内市老人保健医療事業特別会計補正予算	原案可決 (全会一致)
議案第190号	平成21年度薩摩川内市介護保険事業特別会計補正予算	原案可決 (全会一致)
議案第195号	財産の取得について (里診療所医療機器全身用X線CT装置一式 24,885,000円)	原案可決 (全会一致)

建設水道委員会への付託分

議案第167号	都市公園（川内地域及び樋脇地域）の指定管理者の指定について	原案可決 (全会一致)
議案第168号	都市公園（樋脇地域）及び普通公園（入来地域及び祁答院地域）の指定管理者の指定について	原案可決 (全会一致)
議案第169号	普通公園（川内地域）の指定管理者の指定について	原案可決 (全会一致)
議案第170号	普通公園（川内地域、樋脇地域及び東郷地域）の指定管理者の指定について	原案可決 (全会一致)
議案第171号	普通公園（樋脇地域）の指定管理者の指定について	原案可決 (全会一致)
議案第172号	普通公園（東郷地域）の指定管理者の指定について	原案可決 (全会一致)
議案第173号	普通公園（里地域）の指定管理者の指定について	原案可決 (全会一致)
議案第174号	普通公園（上甌地域）の指定管理者の指定について	原案可決 (賛成多数)
議案第175号	普通公園（下甌地域）の指定管理者の指定について	原案可決 (全会一致)
議案第176号	普通公園（鹿島地域）の指定管理者の指定について	原案可決 (全会一致)
議案第178号	平成21年度薩摩川内市簡易水道事業特別会計補正予算	原案可決 (全会一致)
議案第179号	平成21年度薩摩川内市温泉給湯事業特別会計補正予算	原案可決 (全会一致)
議案第180号	平成21年度薩摩川内市公共下水道事業特別会計補正予算	原案可決 (全会一致)
議案第181号	平成21年度薩摩川内市農業集落排水事業特別会計補正予算	原案可決 (全会一致)
議案第182号	平成21年度薩摩川内市漁業集落排水事業特別会計補正予算	原案可決 (全会一致)
議案第183号	平成21年度薩摩川内市浄化槽事業特別会計補正予算	原案可決 (全会一致)

議案番号	件名	議決結果
議案第184号	平成21年度薩摩川内市天辰第一地区土地区画整理事業特別会計補正予算	原案可決 (全会一致)
議案第185号	平成21年度薩摩川内市川内駅周辺地区土地区画整理事業特別会計補正予算	原案可決 (全会一致)
議案第186号	平成21年度薩摩川内市入来温泉場地区土地区画整理事業特別会計補正予算	原案可決 (全会一致)

総務文教委員会への付託分

議案第159号	川内市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例等を廃止する条例の制定について	原案可決 (全会一致)
議案第160号	薩摩川内市祁答院グラウンドの指定管理者の指定について	否決
議案第161号	薩摩川内市上甌グラウンドの指定管理者の指定について	原案可決 (賛成多数)
議案第162号	里プールの指定管理者の指定について	原案可決 (全会一致)
議案第163号	鹿島コミュニティプールの指定管理者の指定について	原案可決 (全会一致)
議案第164号	薩摩川内市総合運動公園の有料公園施設及び御陵下公園の指定管理者の指定について	原案可決 (全会一致)
議案第191号	財産の取得について (中学校教育用コンピュータ 20,737,500円)	原案可決 (全会一致)
議案第192号	財産の取得について (教育用・校務用コンピュータ 147,000,000円)	原案可決 (全会一致)
議案第193号	財産の取得について (デジタル教材機器等 25,200,000円)	原案可決 (全会一致)

4 常任委員会への付託分

議案第177号	平成21年度薩摩川内市一般会計補正予算	原案可決 (全会一致)
---------	---------------------	----------------

決算審査特別委員会への付託分

議案第123号	決算の認定について(平成20年度薩摩川内市一般会計歳入歳出決算)	認定 (賛成多数)
議案第124号	決算の認定について(平成20年度薩摩川内市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算)	認定 (全会一致)
議案第125号	決算の認定について(平成20年度薩摩川内市温泉給湯事業特別会計歳入歳出決算)	認定 (全会一致)
議案第126号	決算の認定について(平成20年度薩摩川内市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算)	認定 (全会一致)
議案第127号	決算の認定について(平成20年度薩摩川内市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算)	認定 (全会一致)
議案第128号	決算の認定について(平成20年度薩摩川内市漁業集落排水事業特別会計歳入歳出決算)	認定 (全会一致)
議案第129号	決算の認定について(平成20年度薩摩川内市浄化槽事業特別会計歳入歳出決算)	認定 (全会一致)
議案第130号	決算の認定について(平成20年度薩摩川内市天辰第一地区土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算)	認定 (全会一致)
議案第131号	決算の認定について(平成20年度薩摩川内市川内駅周辺地区土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算)	認定 (全会一致)
議案第132号	決算の認定について(平成20年度薩摩川内市入来温泉場地区土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算)	認定 (全会一致)
議案第133号	決算の認定について(平成20年度薩摩川内市公共用地先行取得等事業特別会計歳入歳出決算)	認定 (全会一致)

議案番号	件名	議決結果
議案第134号	決算の認定について（平成20年度薩摩川内市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算）	認定 （賛成多数）
議案第135号	決算の認定について（平成20年度薩摩川内市国民健康保険直営診療施設勘定特別会計歳入歳出決算）	認定 （全会一致）
議案第136号	決算の認定について（平成20年度薩摩川内市老人保健医療事業特別会計歳入歳出決算）	認定 （全会一致）
議案第137号	決算の認定について（平成20年度薩摩川内市介護保険事業特別会計歳入歳出決算）	認定 （全会一致）
議案第138号	決算の認定について（平成20年度薩摩川内市介護サービス事業特別会計歳入歳出決算）	認定 （全会一致）
議案第139号	決算の認定について（平成20年度薩摩川内市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算）	認定 （賛成多数）
議案第140号	決算の認定について（平成20年度薩摩川内市水道事業会計決算）	認定 （全会一致）
議案第141号	決算の認定について（平成20年度薩摩川内市工業用水道事業会計決算）	認定 （全会一致）
議案第142号	決算の認定について（平成20年度薩摩川内市自動車運送事業会計決算）	認定 （全会一致）

本会議審議（委員会への付託省略分）

議案第146号	薩摩川内市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決 （賛成多数）
議案第147号	鹿児島県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び鹿児島県市町村総合事務組合規約の変更について	原案可決 （全会一致）
議案第148号	鹿児島県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少について	原案可決 （全会一致）
議案第149号	平成21年度薩摩川内市一般会計補正予算	原案可決 （賛成多数）
議案第150号	平成21年度薩摩川内市簡易水道事業特別会計補正予算	原案可決 （賛成多数）
議案第151号	平成21年度薩摩川内市温泉給湯事業特別会計補正予算	原案可決 （賛成多数）
議案第152号	平成21年度薩摩川内市公共下水道事業特別会計補正予算	原案可決 （賛成多数）
議案第153号	平成21年度薩摩川内市漁業集落排水事業特別会計補正予算	原案可決 （賛成多数）
議案第154号	平成21年度薩摩川内市天辰第一地区土地区画整理事業特別会計補正予算	原案可決 （賛成多数）
議案第155号	平成21年度薩摩川内市川内駅周辺地区土地区画整理事業特別会計補正予算	原案可決 （賛成多数）
議案第156号	平成21年度薩摩川内市入来温泉場地区土地区画整理事業特別会計補正予算	原案可決 （賛成多数）
議案第157号	平成21年度薩摩川内市国民健康保険直営診療施設勘定特別会計補正予算	原案可決 （賛成多数）
議案第158号	平成21年度薩摩川内市介護保険事業特別会計補正予算	原案可決 （賛成多数）
議案第196号	人権擁護委員候補者の推薦について (岡野 龍信 氏)	同意 （全会一致）
議案第197号	人権擁護委員候補者の推薦について (笹野 廣子 氏)	同意 （全会一致）
議案第198号	人権擁護委員候補者の推薦について (勝田 芳孝 氏)	同意 （全会一致）

請 願 ・ 陳 情 の 処 理 状 況

請願・陳情番号	件 名 () は陳情者	結 果
陳情第90号	県道東郷西方港線の湯田町湯之元路線で施工されている道路工事の見直しについての陳情 (渋谷 正宜 外1名)	不 採 択
陳情第91号	核兵器の廃絶と恒久平和を求める陳情書 (押川 英人)	取 下 げ 承 認
請願第92号	下甌町瀬々野浦と長浜を結ぶトンネル建設に関する請願 (紹介議員 江口是彦、東完治) (瀬々野浦区 区長 山下 峯生)	不 採 択
陳情第93号	甌島航路の「フェリーニューこしき」に関する陳情 (長浜漁業生産組合 組合長理事 南 久司 外2団体)	継続審査
陳情第94号	川内原発3号機増設地質調査結果等の公開を求める陳情 (ミツロー事務所 代表 森永 満郎)	継続審査
陳情第95号	永住外国人地方参政権付与法案に反対する陳情書 (松田 フヂ子)	継続審査
陳情第96号	改正国籍法に関する陳情書 (松田 フヂ子)	継続審査
陳情第97号	改正貸金業法の早期完全施行等を求める陳情書 (山本 豪太)	継続審査

議 会 の 動 き

2月15日	議会運営委員会	11日	(企画経済委員会) (市民福祉委員会)
24日	本会議	12日	(企画経済委員会) (市民福祉委員会)
3月3日	(議会改革特別委員会)	15日	(建設水道委員会) (総務文教委員会)
5日	本会議 (一般質問)	17日	(建設水道委員会) (総務文教委員会)
8日	本会議 (一般質問)	19日	(原子力発電所対策調査特別委員会)
9日	本会議 (一般質問)	23日	(産業廃棄物管理型最終処分場対策調査特別委員会)
		25日	本会議

※ 日程は変更になる場合があります。間近になりましたら、議会事務局にお問い合わせください。
(ホームページでもお知らせいたします。)

お 知 ら せ

本会議は、原則、どなたでも傍聴することができます。
市役所4階にありますので、傍聴席入口の申込書に住所・氏名等を記入し、受付箱に入れて傍聴してください。(傍聴席数は50席です。)

庁舎2階ロビーや48地区コミュニティセンター等、一部の市の施設でも本会議の映像配信をしています。

また、各委員会も委員長の許可を得て、傍聴することができます。なお、委員会の傍聴席の上限数は次のとおりです。 **第1委員会室 12人 第2委員会室 16人 第3委員会室 30人**
傍聴希望の方は、議会事務局までお越しください。

※委員会の傍聴を希望される方は、委員会の開会時間の30分前までに、議会事務局で受付をしてください。**委員会の開会時間30分前の時点で、傍聴希望者が定員数を超過している場合については、抽選により傍聴者を決定**することもあります。

※委員会の傍聴を希望される方は、委員会の開会時間の30分前までに、議会事務局で受付をしていただきますようお願いいたします。

議会だよりNo.22の 9 ページ 森永靖子議員の答弁の2段目、2行目の文章がぬけていましたので、お詫びして訂正させていただきます。

正

「狭いことが一番の原因であるため、再度実態調査をしたい。」

誤

「狭いことが一番の原因であるため、」

㊟

薩摩川内市議会だより

平成22年3月1日発行

交通安全対策について



森永 靖子

質問 国道3号から市道と光園線に入り、可愛地区コミュニティセンターに向かう諏訪保育園入口付近が大変狭く、車両進入の際に離合がとて困難である。道路幅も狭く、四メートルの箇所もあり住連木自治公民館やいろいろな施設もあり、交通量も多いことから危険である。停止位置変更について市長のご所見を伺う。

答弁 横断歩道や停止線等の路面標示は、県公安委員会が設置するが、過去に地元からの要望があり停止線の位置を変えたということである。今回、提言のあった停止線の位置変更という方法に加え、大型車両等の通行規制も含めて協議を行いたい。なお、道路幅員が



諏訪保育園入口

狭いことが一番の原因であるため、

「狭いことが一番の原因であるため、」の次に、「再度実態調査をしたい。」

が表示されていませんでした。

お詫びして、訂正させていただきます。